

一体であること

グルマーイについての話

バースデーブリス(誕生日の至福)を祝って

グルマーイの話 1

リーラーヴァティ・スチュワート・サトクリフ

1980年代、私が20代前半の時に、グルデーヴ・シッダ・ピートウを訪問しました。私が着いたすぐ後に、グルマーイと中庭でダルシヤンをしました。彼女は、私をとっても愛情を込めて歓迎しました。グルマーイは私に、セーヴァーのための訪問中に、内面的な修行に時間を取って、サーダナーに焦点を当て内側を見るのが私のためになるでしょうと助言しました。

私はこの焦点を保つことにわくわくしました。どのようにしてそれに取り組んだらよいのでしょうか。「たくさん瞑想をしよう。それが私の内的世界を明らかにするだろう」と考えました。

私に与えられたセーヴァーは、アムリット・カフェの「渉外係」でした。その頃、毎日約300人の人がアムリット・カフェを訪れていました。私が訪問していた時に進行していたプロジェクトの一つは、アムリットの休憩所の改修で、もっと広い飲食の場所を作るために、大きな壁が取り壊されているところでした。私の役目は、改修のプロジェクト・マネジャーたちと連絡し合い、アムリットの円滑な運営を維持することでした。例えば、皆が座って食べられる場所を確保するために、臨時に庭に座れる場所を作らなければならないこともありました。何度も、事がうまくいかずに難しく感じることもありました。

計画通りに事が運ばない時には、私はアムリットを離れて瞑想ケーブに行き、グルマーイが指示したように内面的な修行ができれば、と思いました。しかし、セーヴァーをし続けることは重要であり、そして最も重要なことは、グルマーイの導きに従うことであると分かっていました。そこで私は、「瞑想ケーブに行けないのなら、セーヴァーをしながら内面的な修行ができる方法を探そう！」と思いました。

私は、私が取り組んでいる活動や人たちと関わる前に、まず私の心の空間に触れようと決めました。すると、私の活動が心につながっていればいるほど、より多くの事がはかどることに気づきました。頭ではとても解決できないと思っていた難題が、実際にはいとも簡単に解決できるのです。私は瞑想ケーブにいなくても、内側で平静さを体験できることを発見しました。忙しい中でも冷静でいられるのは、とても良い気分でした。

セーヴァーのための滞在が終わりに近づいたある日、グルマーイが美しい庭園を歩いているのが見えました。グルマーイは私と一緒に歩くように招いて、アーシュラムでの生活について尋ねました。「何をしましたか？」と、グルマーイは聞きました。私は涉外係だった役目について話し始めました。グルマーイは再び聞きました。「何をしましたか？」私は何と答えてよいのかわからず、黙っていました。グルマーイはほほ笑んで、言いました。「あなたは壁を壊したのです！」

グルマーイは再び聞きました。「何をしましたか？」私は言いました。「私は壁を壊しました」。自分自身がそう言ったのを聞いた瞬間、それはアムリットの壁について言っているのではないことに気づきました。

グルマーイは私に、私の心と行動の間には何の障壁もないことを見せてくれました。グルマーイの導きに従うことで、セーヴァーをささげると「同時に」心とつながる方法を学びました。私は、内側にある空間が外の空間に流れ出て、成し遂げようと思ったことを、とても楽に成就するように導いてくれることを発見したのです。

グルマーイ、ありがとうございます。

グルマーイの話 2 シャラーニ・バーンズ

2002年、私は住まいがあるオーストラリアのパースから、SYDA ファウンデーションのスタッフとしてセーヴァーをささげるために、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムに旅立ちました。

スタッフになってから数年後のある日、私は強いホームシックを感じていました。その日はアメリカ合衆国の祝日で、アーシュラムに住むセーヴァイトの多くが家族に会いに行っていました。

私は引き寄せられるように、ニッティヤーナンダ湖の周りを散歩しようと思いました。とても嬉しいことに、私が歩いていると、グルマーイが向こうから歩いて来るのが見えました。グルマーイは、私が以前見かけながらも直接面識のない人と歩いていました。私はとても喜んでグルマーイにあいさつをし、再び歩き出しました。

グルマーイは立ち止まると、私の名前を呼び、彼女と一緒に歩いている女性に会ったことがあるかと聞きました。私が「いいえ、グルマーイ」と答えると、グルマーイは、私たちは2人ともオーストラリア人だし、たくさん共通するものがあるでしょうと言いました。そして、私も一緒に湖の周りを歩くように招きました。

私たちは一緒に歩きながらお互いの人生の話をし、その女性と私には実際たくさんの共通点があることを発見しました。私はホームシックが溶けていくのを感じました。

グルマーイは、メキシコからのスタッフと訪問セーヴァイトたちはよく一緒にいるけれど、オーストラリア人たちはあまりそれが得意でないらしいと気づいたと言いました。私たちは皆で大笑いしました。確かにそうなのです！ 毎日のように、私はアマリット・カフェの長いテーブルにメキシコから来たセーヴァイトたちが集まって座り、とても生き生きと笑ったり話したりしているのを目にしていました。

1日か2日たって、グルマーイの希望で、アーシュラムにいるオーストラリア人のセーヴァイトたちのためにプラサードの集いが持たれました。そこにあるものはすべてオーストラリア産でした！ オーストラリアのチョコレート、クッキー、キャンディー、ケーキ、そしてオーストラリアのお茶。かなり多くの人たちが、これまで会ったことがないか、お互いをよく知る機会がなかった人たちでした。この時に知り合う機会を得て、私の胸は温かくなりました。私たちはサーダナーの体験や、オーストラリアの好きな場所や活動の話について分かち合いました。誰かがオーストラリア人に特有のことを挙げると、私たち全員が声を上げて同意し、そして大笑いしました。

オーストラリアからの仲間のセーブァイトたちを見回して、とてもリラックスして心が開き、幸せに感じたことを思い出します。グルマーイが私たちを集める前には、私は彼ら全員と心を通わせることができるとは思いませんでした。私は感謝の気持ちでいっぱいになりました。

この集いから数日して、私は幸運にも再びグルマーイのダルシヤンを持つことができました。グルマーイは、オーストラリア人たちの仲間との午後のお茶会が、私を元気にさせたことを期待していると言いました。私は全身でにっこりしました。それは本当に元気にしてくれたのです。私はグルマーイに、そのような素晴らしいオーストラリア人の集いで私たちを一つにしてくれたことを感謝しました。

この一連のグルマーイとのやりとりから、そして彼女からのプラサードから、私は自分の周りにいる人たちと積極的に関わることの大切さを、よりはっきりと理解しました。私はグルマーイの教えを、単にオーストラリア人たちだけではなく、私が出会う多くの人たちとの関わりにも取り入れてきました。幾度となく私は、相手を知ろうとする努力、そこに共通点を見だし、分かち合う絆を楽しむことの有益さを体験してきたのです。

グルマーイ、ありがとうございます。

